

あの手この手で考えて、あの手この手で問題解決!



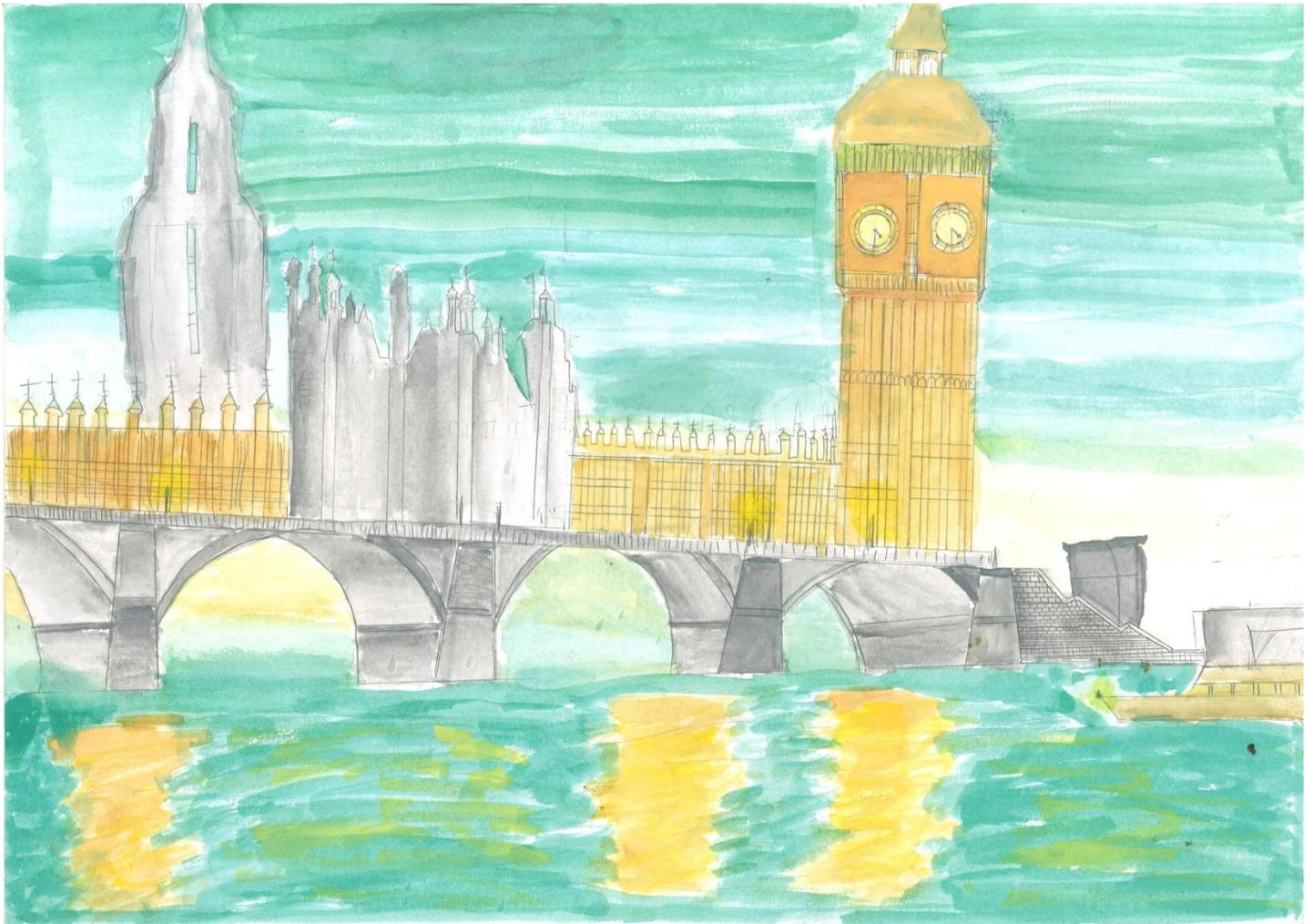
2017年
5月号



【市民活動にこの人あり】第14回
実は林業のスペシャリストで樹木
医でもある岸靖之さん(中面参照)

あの手この手のマークの間のSは、solution(解決)のSです。

第118号 2017年5月10日 大和市民活動センター 拠点やまと 発行



インターナショナル賞 「ロンドンのひろがる空」

草柳小4年 メディオロス 花維利(アメリカ) ※学年は受賞時

2017年度の表紙は、やまと国際フレンドクラブ主催の
やまと国際アートフェスタ入賞作品を掲載しています。
第9回(2016年)のテーマは「世界の子どもたちへ」です。

世界には沢山の素敵な場所があって今自分が住んでいる町も将来 あの様
な美しい場所になったらいいなあ...と思いながら描きました。今回 今まで見た
事のないさまざまな世界中の風景を調べて観ることが出来たととても良い機会
でした。次回はまた違うテーマを探して応募できたらいいかな、と思います。



**5月27日「認知症になっても安心して暮らせるまちづくりとは」
講演会が終わったら、ゴールを一緒に盛り上げよう!!**

5月27日(土)に今年度の補助金事業で、タスキをつ
ないで走り認知症への理解を深める『RUN伴+(プラ
ス)やまと』が開催されます。午前中には若くして認
知症と診断された本人による講演会も。是非ご参加
いただき、講演会が終わったら、大和駅東側プロムナ
ードでゴール(14:30予定)を一緒に盛り上げませんか？

ゴールでは、大和芸術未来賞を受賞したサクソ奏者
北嶋恭子さんのライブや、つるま龍鼓会の和太鼓演奏
などが楽しめるほか、企業展示では介護関連用品のサ
ンプル配布なども予定されています(12:00~16:00)。

●RUN伴+やまと 講演会

日 時：5月27日(土) 9:30~11:30 (受付9:10~)
会 場：保健福祉センター ホール(鶴岡駅から4分)
内 容：◆9:40~10:20/丹野智文氏(仙台市在住)

認知症と診断されて~本人が語る日々の暮らし~

◆10:20~10:50/舟田彰氏(大和市在住)

だれでもこれる図書館づくり(川崎市での取組)

◆10:50~11:30/パネルディスカッション

認知症になっても安心して暮らせるまちづくりとは

申 込：不要。直接お越しください。参加無料。定員400名。

問合せ：TEL 046-269-4111 (桜ヶ丘中央病院/加藤太一)

協働事業から 市の事業になった事例も。

補助金事業・協働事業の報告会を開催しました。

4月26日(水) 勤労福祉会館



「のりあい」は介助者が交代で感想を発表



中央林間ツリーガーデン運営委員会はパワフルな発表

4月26日(水)11時から、平成28年度に実施された市民活動推進補助金事業の報告会を、13時から協働事業の報告会を、大和市勤労福祉会館で開催いたしました。

補助金事業は、ハウスメンテ大和による「ハウスメンテの担い手育成事業」(事業補助の「はぐくみ」)のみでしたが、事業前はメンバーが6人だったのが現在16名となり、その意味では大きな成果が得られました。ただ、実際の依頼はまだ多くはなく、自治会を窓口にするなど、信用・信頼を高める努力を続けています。また、「住まいのセカンドオピニオン」を目指している抱負も語られ、多くの期待が寄せられました。

協働事業については、下表の17事業の報告があり、参加者も総勢60名近くと賑やかになりました。パワーポイントによるプレゼンが多いなか、「のりあい」は、あえてパワポを使わず、添乗する介助者を多く登壇させ、全員が感想を述べる方法で発表し、参加者からも好評でした。「のりあい」は、単なるのりものではなく、

地域コミュニティそのものだと、よく理解できました」との感想も寄せられました。

17事業のうち、チャレンジ離乳食教室は28年度、プレススクール事業は29年度で終了となりますが、前者は補助金事業から始まり、協働事業を経て今年度からは市の事業として引き継がれることとなり、大きく育て離陸したといえます。



補助金事業では、今年も車座の意見交換会が開かれた。

●平成28年度 協働事業一覧

年度	事業名	協働事業者／市の事業担当課	種類
27	中央林間ツリーガーデン運営事業	中央林間ツリーガーデン運営委員会／こども・青少年課	★
27	ドッグラン管理運営事業	結の会／みどり公園課	★
27	みんなの心をはぐくむ子育て支援事業～笑顔で はぐくねっと～	NPO法人地域家族しんちゃんハウス／こども総務課	★
27	地域で支え合う「のりあい」を走らせよう	地域と市との協働「のりあい」／街づくり総務課	★
27	生活に役立つ日本語の読み書きを学ぶ「つま読み書きの部屋」	NPO法人かながわ難民定住援助協会／国際・男女共同参画課	★
27	地域と学校の連携による大和市立渋谷中学校学校開放事業	渋谷きんりん未来の会／図書・学び交流課	★
27	移動制約者の外出介助サービス事業	NPO法人ワーカーズ・コレクティブ・ケアびーくる／障がい福祉課	★
27	障がい者・高齢者のための「外出介助サービス」事業	NPO法人大和市腎友会／障がい福祉課	★
27	移動制約者の外出介助サービス事業	NPO法人たんぼぼ／障がい福祉課	★
27	みんなで作ろう安心のまち事業	NPO法人日本がーディアン・エンジェル大和支部、大和女性防犯会 ／生活あんしん課	■
26	大和市・AJAPEプレスクール開催事業	NPO法人日本ペルー共生協会／指導室、国際・男女共同参画課	★
26	大和市民活動センター管理運営事業	拠点やまと／市民活動課	■
26	文化創造担い手育成事業	ドラマティックカンパニーyamato50／文化振興課	■
25	チャレンジ離乳食教室～これからママ・パパになるあなたへ～ &ステップアップ離乳食教室	栄養サポートやまと／すくすく子育て課	★
25	認知症サポーターの実践講座	社会福祉士の会やまと／高齢福祉課	★
25	障がい者と地域住民とのふれあい体験活動を通じた 共助・共生社会の実現を目指す事業	NPO法人大和市腎友会／指導室、健康福祉総務課	★
25	入院患者さんの「癒しの場」提供事業	LickLuck／病院総務課	■

27＝平成27年度提案事業(28～30年度実施事業)
26＝平成26年度提案事業(27～29年度実施事業)
25＝平成25年度提案事業(26～28年度実施事業)

市民提案型協働事業＝★
行政提案型協働事業＝■

お気軽に！ 定例相談日

◆市民活動相談＝5月8・22日(月)・6月12日(月) ※毎月第2・4月曜の10～17時
◆ボランティア相談＝5月13・27日(土)・6月10日(土) ※毎月第2・4土曜の10～17時
◆パソコン相談＝5月9・23日(火)・6月13日(火) ※毎月第2・4火曜の14～17時
※予約不要ですが、事前に電話予約していただいた方が、お待たせすることもなく確実です。

大和市革新懇・やまと共同行動の会
事務局長 岸 靖之さん

戦争は絶対にいけない。 一緒に考えよう。

太平洋戦争末期、神奈川県は二宮町に生まれた岸さん。父親はほどなく招集され南方に出征。町の上空をB29が飛来するなか、家族は母親の実家がある福島へ疎開したが、翌年父親は戦死との報を受け、日本に戻ってくることはなかった。戦後は高校卒業まで福島で過ごした。その間、将来の学費のためと、小学5年生のときから4年間、兄とともに、母親に新聞配達をさせられたのは、今ではいい思い出になっている。

山好きだったことから大学では林学を専攻したが、学生生活は、学費と寮生活費をまかなうためアルバイトに忙しかった。生まれが神奈川県だったこともあり、卒業後は神奈川県庁に就職。以来、本庁林務課・農林事務所・林業試験場と林業一筋で定年まで勤めた。本庁勤務時代、労働運動の盛り上がりがあり岸さんも参加。県職労には、賃上げだけでなく公務員として県民のためになる仕事をしようという機運があった。

当時、市街化区域と調整区域の「線引き問題」が農家にとって死活問題となっていたが、組合の農政担当だった岸さんは、休みの日は農民の相談や調整に奔走。組合の専従も4年間務めた。国立で安い学費、無利子の奨学金、そして県庁と、ずっと税金のお世話になってきた岸さんには、お返しに、みんなのことを考えないといけないという公共心が育ったようだ。樹木医の資格を取ったのも、専門を広く役立てたいという気持ちからだった。

退職してからは、大和はそれまでネグラに過ぎなかったという反省から、設立されて3年目の大和市革新懇に参加。思想信条を問わず「平和・民主主義・生活向上」を目標に掲げ、広く連携して活動するのが持ち味。2015年は安保法案への

危惧から、やまと共同行動の会設立を提唱、集会・パレード・学習会などを積極的に開催。「今は大きな曲がり角。一緒に考えよう」と絶えず呼びかけている。市民の意見広告に取り組んだときは、一口500円で1000人を越す賛同が集まったのが一番嬉しかったと語る。現在では、いずれの会も事務局長を務めるキーパーソンだ。

活動はそれだけに留まらない。憲法九条やまとの会や、一市民・宗田さんの人権を守る会（写真）にも携わっている。活動は多様でも想いはひとつ。「戦争は絶対にいけない。戦争を防ぐには憲法九条は必須。今の政治の流れでは平和や人権は保てない」ということ。意思是固いが物腰は柔らかい。実は謡曲や書道も嗜む。

「親父が戦死しなかったら、違う人生があったかもしれない」と語るが、「自分の人生はやりたように生きる、自分で切り開く」のが信条。その飾らない人柄に、岸さんのこれまでの半生がにじみ出ているような気がした。



医療活動の傍ら水路を掘った中村哲医師講演会 『武器ではなく命の水を』

1984年からパキスタンのペシャワールで医療活動を始め、その後アフガニスタンにも活動範囲を広げた中村医師。2000年からは大干ばつの村々で水源確保事業を開始し2010年には現地の人とともに25kmの灌漑用水路を完成させました。いまでは農村復興事業「緑の大地計画」を進めています。当日は海老名の混声合唱団ビナ・ベリーの音楽も楽しめます。

日時：6月1日(木) 19:00～(開場18:30)
会場：文化創造拠点シリウスメインホール（大和駅から3分）
会費：前売900円 当日1200円 学生等500円 保育有(要予約)
主催：憲法九条やまとの会&戦争法廃止4市共同市民の会
問合せ：TEL 046-272-8880 k9yamato@js6.so-net.ne.jp

新企画 市民活動のキーワード① 地域通貨

かつては地域通貨先進地？だった大和市。市がICカードと連動した「LOVES」を発行、つきみ野ラブ・にぎわいラブ・さくらぶなど、よりローカルな地域通貨も発行されていました。

地域通貨とは、相互扶助やコミュニティ・地域の活性化などを目的に、市民団体などが自主的に発行する通貨。流通範囲は限られ、特定のテーマ・関心・価値観などを共有し伝えていく役割もあります。商店などでも使いやすい紙券型とマイナスOKの通帳型に大別されます。1999年のTV番組『エンデの遺言』を機に全国に広がり、今でも安房マネー、戸田オール、まーゆ(上田市)など活発です。

しばらく下火の感はありましたが、近年再評価も広がり、県内では、よろず／藤野、なみなみ／葉山、首都圏では、てんぐ／八王子、ぶんじ／国分寺、米(まい)／いすみ市など、主に脱成長社会への「移行」をめざす各地の「トランジション」タウン運動のなかで、第二世代ともいえる新たな地域通貨が育ち、実際に使われています。



就労移行支援事業所ミライでらす主催 ストレスからの解放&上手な付き合い方

ミライでらすでは、毎月無料のオープンカレッジを開催しています。5月はデイサービスなどで人気の齋藤律子先生と一緒に音楽を楽しみながら心と体を健康にする音楽イベント。6月は、つばさクリニック(町田市)院長の鈴木智広先生に、ストレスとの上手な付き合い方についてお話をうかがいます。

日時：5月26日(金) 13:00～16:00
「心身を健康にさせる音楽のチカラ～ストレスからの解放」
6月14日(水) 13:00～16:00
「ストレスとの上手な付き合い方」
会場：ミライでらす大和センター(大和駅から西へ3～4分)
大和市中心2-3-19ウエスト・ビルディング5F
問合せ：TEL 046-240-1967 (予約不要・直接会場へ)

回想法リーダー養成講座 高齢者が生き生きとなる心のリハビリ

回想法は高齢者が懐かしい昔を思い出して語り合うことで脳を活性化させ、生き生きとした生活を取り戻す心のリハビリ。高齢者を支える方にお勧めです。継続して申し込み受付中。

日時：6月7・21日・7月5・19日(各回水曜13:30～16:40)
会場：かながわ県民センター(横浜駅西口から5分)11階
かながわコミュニティカレッジ講義室
会費：12000円(全4回分)
主催・申込：回想法プランニング(担当:阿部)
FAX 046-258-2188 MAIL info@kaisoho.org

